

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	2 農業総務費	13,608千円	13,548千円
担当課決算額				13,608千円	13,548千円

○人件費 8,704千円  
一般職1名

○農業研修施設・広場管理 4,630千円  
農業研修施設、農村公園などの維持管理費  
八橋農村公園 507千円 逢東農村公園 154千円 白鳳館 1,547千円  
水辺公園 630千円 大父木地親水公園 698千円 船上山休憩所 505千円  
公用車4台の管理費等ほか 589千円  
「成果」 町有施設の管理を行い、町民に快適に利用してもらえる環境を保ちました。  
「課題」 なし

○一般事務 136千円  
火災保険料(12施設分) 89千円  
県山村振興協議会負担金 山村関係振興部会 47千円

○各種農林融資資金利子補給事業 78千円  
次の資金を借りた農業者に利子補給支援を行い、負担軽減を図りました。

資金名	件数	利子補給額
果樹等経営安定資金	26件	73千円
家畜飼料特別支援資金	1件	1千円
米価下落緊急対策資金	2件	4千円

「成果」 資金利子を助成することにより、借入農家の経営安定に寄与しました。  
「課題」 なし

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	3 農業振興費	132,221千円	125,290千円
担当課決算額				132,221千円	125,290千円

○人件費 22,265千円  
一般職 3名

○がんばる地域プラン事業 23,014千円  
琴浦町の農業振興を核とした地域活性化プランの実現に必要な支援を行いました。

主な事業

事業内容	補助金額(円)
乗用管理機・全自動移植機導入事業	7,231,000
芝生産機械導入事業	6,666,429
ミニトマトハウスリース事業	3,997,000
PR資材作成事業	2,043,150
物産フェア開催事業	1,468,758



物産フェアの様子

「成果」 昨年認定を受けたプランを元に事業を実施し、作付面積拡大、労力軽減などを図るとともに、物産フェア等により琴浦町のPR・販売促進を進めました。  
「課題」 今後もプランに掲げた目標を達成するために、事業の着実な実施が必要です。

## ○農業振興対策事業 5,587千円

- ・がんばる農家プラン事業補助金 4,500千円

意欲ある農業者が作成する生産、流通等に関するプランの実現に必要な支援を行いました。

プラン名	補助金額
良質な酒米の生産を目指して	4,500,000
計	4,500,000

「成果」 琴浦町農業の担い手に対する支援ができました。

「課題」 県が実施するプラン認定審査会での否決されるケースが見受けられることから引き続きプラン作成時の支援が必要です。

- ・農業用廃プラスチック等適正処理促進事業 163千円

農業用廃プラスチック等の町内の山林及び原野等への不法投棄防止と環境保全を図るため、農業廃棄物の処理経費を助成しました。

JA鳥取中央 62,941円 琴浦町酪農協議会 100,000円

「成果」 農業廃棄物の不法投棄を防ぎました。

「課題」 なし

- ・芝カス有効活用検討補助金 71千円

芝カスの適正処理と有効利用を進める際の基礎データとするため、芝カス残渣の残留検査に対する支援を目的に行いました。

「成果」 焼却以外の適正な処理方法を広域的に協議を行い、芝カスの有効利用に向けた分析を行う団体に支援をしました。

「課題」 半年程度置いた芝カスから除草剤が残留する可能性があることが判明しており、引き続き支援が必要となります。

- ・環境保全型農業直接支援対策交付金 853千円

有機農業に取り組む農業者に対して助成しました。

「成果」 有機農業の取組みに対する支援ができました。

「課題」 制度の周知が必要です。

## ○経営所得安定対策推進事業 4,331千円

経営所得安定対策の制度の推進、補助金事務等を行いました。

「成果」 意欲のある農業者に対して支援を行いました。

「課題」 米の直接支払交付金は29年産までとなるため、水田農業の新たな施策への取り組みが必要となります。

## ○特定野菜供給産地育成価格差補給事業 148千円

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業に係る業務資金(積立金)を負担しました。

「成果」 野菜の価格変動に備える取組みができ、農業者の所得安定につながっています。

「課題」 なし

## ○地産地消推進事業 351千円

- ・中部発！食のみやこフェスティバル負担金 351千円

6月29日、30日、倉吉未来中心大御堂廃寺跡で開催

- ・食のみやこ鳥取県フェスティバル負担金

11月9日、10日、コカコーラウエストパーク(布勢)で開催

「成果」 町の特産品がPRできました。

「課題」 なし



中部発！食のみやこフェスティバルの様子

○農業体験学習事業 510千円

・二十世紀梨栽培体験学習支援事業 510千円

八橋小・浦安小(4年生)、東伯小・古布庄小・安田小・成美小・赤碕小(3年生、)

二十世紀梨の栽培体験学習を通じて、果実を作る苦労や収穫の喜びを体験しました。

5月摘果・小袋掛け、6月大袋掛け、9月収穫・選果場見学

(4月に交配を行う予定であったが、春休み中に開花したため実施できませんでした。)

「成果」 農作業を体験し、自分で栽培した農作物を食べることで、食への認識を高め、食に対する感謝の心が深まるなど食育につながりました。

また、地元農家から指導を受けたことにより、地域への関心を深めました。

「課題」 参加校が多くなっているため、実施農園や指導方法の集約などの検討が必要。

○果樹振興対策事業 6,051千円

・次世代鳥取梨産地育成事業 3,963千円

梨産業活性化のため、ブランド化を目的とした鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入と、それに伴う生産基盤の整備を図りました。

・生産基盤対策(改植支援、網かけ整備、かん水施設整備)

新植・改植 131本、 網かけ施設 15.8a、 かん水施設 72.38a

・育成促進対策(5年間の育成費支援98.5a)

「成果」 新品種への切り替え支援を行った。

「課題」 琴浦はいち早く新品種への切り替えに取り組んでいるが、鳥取県の果樹振興計画割にまだ達していない。

・琴浦梨PR拡大支援補助金 500千円

とうはく・あかさき梨から、琴浦梨としてブランド化するためのPR資材費を補助した。

パンフレット 10万枚、のぼり 600枚、ポスター 600枚、

テーブル幕 20枚、ミニのぼり 600枚



作成したのぼり、ポスター、幕

・百年樹パッケージ作成事業 123千円

梨の産地琴浦町を梨公園の100年樹を活用してアピールする。

百年樹パッケージ作成 1,000箱

「成果」 百年樹のPRをとおして、琴浦梨のアピールをした。

「課題」 なし



・果樹経営安定化対策事業補助金 1,465千円

罹災時の経営安定化と産地維持を図るため、果樹共済への加入を促進する目的で共済掛け金の負担軽減を行いました。

JA鳥取中央(琴浦町)	梨	183戸	1,438,033 円
	ぶどう	6戸	26,334 円
	合計	189戸	1,464,367 円

「成果」 梨農家数の全体は減少する中、共済掛金補助対象農家は維持している。

「課題」 なし

○琴浦町農林水産業活性化研究会 38千円

農林水産業の活性化・再生化を推進するため、鳥取大学と連携し、課題解決と将来のあるべき構想を構築し、地域活力創造の推進を図りました。

・研究会総会 1回

「成果」 重要な課題に取り組みやすいように、委員の人数を削減した。

「課題」 新たな体制で開催する内容・回数の検討。

## ○担い手育成対策事業 322千円

## ・農村地域農政総合補助金 22千円

町担い手農家及び集落営農組織育成のための担い手育成支援協議会により、研修や経営改善支援を実施し、地域農業推進を図りました。

経営診断指導会 2回（再認定 25人、新規 3人）

「成果」 経営診断指導会を実施し、農家の経営改善に寄与した。農業再生協に統合した。

「課題」 なし

## ・認定農業者協議会活動補助金 250千円

町農業担い手の組織である認定農業者協議会による会員相互の資質の向上・研鑽のための研修事業に対して支援を行い、地域農業リーダーの育成を図りました。

認定農業者協議会会員 173名

・先進活動事例視察 1回

・農業研修、講演会 2回

・総会、役員会、各部門別研鑽懇談会 15回

・ジキ伝レシピ放映 12回

「成果」 会員研修等活発に活動が出来た。大山・北栄と3町交流会の3回目実施。

「課題」 新規会員をどう増やすのか。

## ・人・農地プラン作成事業 22千円

今後地域の農業を担う農業者や新規就農者を人・農地プランに掲載することにより各種助成を行う。青年就農給付金対象 2人、スーパーL資金対象者 1人を追加。

「成果」 給付金対象者等の追加したプランを作成した。

「課題」 集落ごとのプランの作成を推進すること。

## ・指導農業士支援事業 28千円

鳥取県知事の委嘱した東伯地区農業士会の年会費（指導農業士4名）を負担しました。

## ○6次産業化総合支援事業 30,000千円

地域農業の振興のため、意欲のある農業者等が行う6次産業化の計画の実現を支援する。

大山乳業が地域資源産物の高付加価値化をめざして行う取り組みを支援する。

・アイスクリーム製造設備（カップ・もなか用） 一式

「成果」 6次産業化用機械の初期導入経費の支援を行った。

「課題」 販路拡大。

## ○企業等農業参入促進支援事業 3,839千円

企業の農業参入にあたり、機械等の初期導入経費の支援を行った。

・トラクター、畝立機、管理機、植付機、土落機、茎葉処理機 各1台

機械倉庫、出荷・保管ハウス 各1棟

「成果」 機械の初期導入経費の支援を行った。

「課題」 規模拡大の支援。



## ○農業後継者育成対策事業 17,058千円

## 主な事業

## ・就農条件整備事業 1,096千円

新規就農者へ機械購入経費等を助成し、経営の安定を支援。

平成25年度事業実施者 3名

移植機、管理機、動噴、ハウス導入、灌水等整備

「成果」 認定就農者の就農初期の負担軽減を図ることができました。

「課題」 新規就農者を増やす取組みが必要です。



導入したハウス

## ・青年就農給付金 6,750千円

新規就農の定着、早期経営安定を図るために給付金を交付(国事業)。

交付対象者 5名

## ・新規就農者定住促進交付金 100千円

長期定住の意思を持って新規に就農した者に対し交付金を交付(町事業)。

平成25年度交付対象者数 1名

「成果」 新規就農者等への支援を行うことができました。

「課題」 農業への新たな参入者の増加を目指した取組みが必要です。

## ・新規就農者住宅解体工事 7,198千円

老朽化により使用出来なくなった住宅を、近隣住宅への被害や景観への影響を鑑み、解体撤去した。

## ・農業青年会議活動補助金等 105千円

農業青年会議の活動経費の助成を行い、農業に対する理解を深めるとともに、農業青年同士の交流を図りました。

主な活動内容: 定例会、県外視察、畑作研修(餅米栽培70a、ひまわり栽培)、JA農業祭等への参加

「成果」 琴浦町の今後の農業を担う若者たちの支援ができました。

「課題」 活動をPRするための取組みが必要です。

## ○気象災害による農業施設等復旧対策事業 2,659千円

## ・鳥取県暴風被害等復旧対策支援事業

春季の低温により、梨の生育が停滞して防除回数が増えていることに加え、防雹・霰により被害を受けた果樹園の復旧を行い、園芸産地等の維持発展と本町特産物の生産振興を図りました。

「成果」 現状復帰により営農定着につながりました。

「課題」 なし

## ○有害鳥獣対策事業 3,446千円

イノシシ、ヌートリア、カラス等の有害鳥獣から農作物の被害を守るため、電気柵の設置や、有害鳥獣の捕獲等の委託を行いました。

## ・イノシシ等有害鳥獣捕獲奨励金事業 1,908千円

イノシシ 104頭(15千円/頭)、ヌートリア 36頭(3千円/頭)、シカ猟期外 12頭(15千円/頭)  
シカ猟期 6頭(7.5千円/頭)、アライグマ 1頭(15千円/頭)

## ・有害鳥獣捕獲業務委託事業 360千円

委託先 鳥取県猟友会八橋支部 東伯分会・赤碕分会

## ・イノシシ等被害防止対策事業 1,178千円

電気柵設置地区 光、別宮、認定農業者 7件

「成果」 継続して取り組むことで、事業実施地区では被害が減少してきている。

「課題」 イノシシについては未整備地区に被害が移行するので継続して対策をする必要がある。

カラスの対策についてはまだまだ不足している。猟銃以外の対策を検討する必要がある。

○耕作放棄地再生推進事業 2,359千円

耕作放棄地の解消に向けて、再生事業に補助金を交付しました。

再生事業実施箇所 町内11箇所 面積 6.5ha

「成果」 耕作放棄地の再生事業を実施し、耕作農地に返しました。

「課題」 耕作放棄地の解消のため、再生事業の推進が必要です。



○農業経営基盤強化資金利子補給事業 3,312千円

スーパーL資金を借入している認定農業者の利子負担軽減を行いました。

農業経営基盤強化資金利子助成補助金 3,312千円

延べ33名。県1/2 町1/2

「成果」 資金借入者の利子を負担することで経営安定に寄与しました。

「課題」 なし

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	4 畜産業費	14,370千円	14,112千円
担当課決算額				14,370千円	14,112千円

○人件費 6,776千円

一般職 1名

○畜産一般事務 82千円

・鳥取県畜産推進機構負担金 82千円

○畜産振興対策事業 5,754千円

家畜個体能力の向上を図るため、飼育管理技術向上のための現地指導会の開催、優良精液の導入による改良への支援、優良和牛への飼育奨励金の交付、畜産農家の経営安定のための支援等を行ないました。

- ・優良精液の導入 和牛 369本、乳牛 499本
- ・優良種牝牛飼育奨励事業補助金交付牛 10頭
- ・品評会出品奨励事業 和牛10頭、乳牛57頭
- ・肉用牛肥育経営安定対策事業 1,478頭
- ・養豚経営安定対策事業 6,069頭



「成果」 優秀な改良牛を目指す取組みを実施したことで、飼養者の経営安定につながりました。

「課題」 和牛・乳牛とも全共対策に向け、より改良の努力が必要。

○家畜伝染病対策事業 1,500千円

口蹄疫等の家畜伝染病発生を予防するため、家畜飼養者に薬材を配布しました。

・消石灰1652袋、消毒薬45本、踏込み槽45 大乳(酪農)、JA(肉用牛、豚)、米久(鶏)

「成果」 防疫体制の意識が高まりました。

「課題」 近隣諸国(台湾、中国、韓国等)で発生が継続しており、予断を許さない状態。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	5 農地費	284,611千円	254,022千円
担当課決算額				284,611千円	254,022千円

○人件費 21,835千円  
一般職 4名

○中山間地域等直接支払推進事業 50,565千円  
中山間地域の農地を保全するために交付金を交付しました。  
対象:28集落協定 対象農用地面積:4,541,795㎡  
交付金 48,494千円  
推進事務 2,071千円



「成果」 農業生産に不利地である中山間地域の農地を保全した。  
「課題」 H26年度で3期対策が終了し、H27年度より4期対策が始まることとなるが、高齢化に伴い集落の当該事業取組みの継続が危惧される。

○農地費一般事務 1,218千円  
各種協議会等の負担金 447,037円  
県農業農村整備事業推進協議会会費 3,000円  
県土地改良事業団体連合会負担金(一般賦課金)25,000円、(特別賦課金)115,000円  
農道台帳管理賦課金 156,000円、中部土地改良推進協議会負担金 16,000円  
東伯中央広域農道町界看板設置負担金 132,037円  
光熱水費(倉坂赤松トンネル照明費用) 269,502円

「成果」 土地改良事業の推進にかかる負担等を行い、農業振興に寄与した。  
「課題」 国等の土地改良事業の制度について、引き続き要望し、持続可能な農業の確立に資する。

○しっかり守る農林基盤整備事業 19,315千円  
町内農業農村生産基盤等の整備を行い、本町の農業振興及び強い農村づくりに寄与しました。  
(6,586千円は、H26年度へ繰越し)  
農業用施設補修借上料(20地区) 1,295千円  
農業用施設補修原材料費(16地区)1,271千円  
工事請負費 16,413千円  
測量設計委託費 336千円

<工事实施箇所>

岩本地区水路、倉坂地区水路、林道宮谷線、森藤地区水路、中井手(三本杉)  
中尾地区水路、林道市倉線、八橋地区農地、金屋地区水路、槻下地区水路、  
小田股地区道路、鋤地区水路、二軒屋地区水路、笠見地区水路、笠見地区農道  
宮木地区水路

「成果」 農村集落で農業用のみならず重要な役割を果たす農業用施設について、関係者のみでの対応が困難な施設の改修及び補修を行い、安心・安全な農村環境の整備に寄与しました。

「課題」 引き続き、上位補助事業での実施を検討する必要がある。

## ○県営畑地帯総合土地改良事業 3,103千円

国営事業と連携し、加勢蛇西地区の幹線水路・農道整備事業を支援しました。  
(1,287千円はH26年度へ繰越し)

- ・加勢蛇西地区 畑かん用水路、農道整備にかかる測量試験・用地買収費等

「成果」 農業基盤整備に伴い、農作物の品質向上及び干ばつ被害を防ぎました。  
「課題」 畑かん末端施設の設置率の向上。

## ○県営ほ場整備幹線道路等事業費及び利子補給事業債務負担事業 62,457千円

農業基盤整備の充実を図るため県営土地改良事業にかかる地元負担を軽減し、基盤整備の促進を図りました。

(1,931千円は、H26年度へ繰越し)

- ・赤碕地区畑地帯総合土地改良事業分 24,603千円
- ・東伯地区畑地帯総合土地改良事業分 37,854千円

「成果」 受益者の負担軽減が図ることにより、農業基盤整備の充実に寄与した。  
「課題」 低利率のものへの借換えなど、経費の節減に向けた検討が必要。

## ○土地改良事業の推進 57,431千円

農業基盤整備の充実を図るため、赤碕・東伯土地改良区への助成及び国営造成施設の効果的運営のため東伯地区土地改良区連合への操作委託を行いました。

- ・操作委託 37,543千円
- ・基幹水利施設管理関係 2,402千円
- ・各土地改良区補助等 17,486千円

「成果」 農業者により組織する各土地改良区において農業基盤の維持管理及び県営土地改良事業の推進を行った。また、国営造成施設を適切に維持・管理し、農業生産基盤の核である水資源を有効に活用した。  
「課題」 将来的に持続可能な運営体制の確立。

## ○国営かんがい排水事業 9,057千円

農業基盤整備を図るため、東伯地区国営かんがい排水事業の円滑な事業推進を図りました。

- ・推進事務関係 363千円
- ・管理体制整備補助金 8,694千円

「成果」 水利施設の多面的機能(防災・環境整備)の充実が図られた。  
「課題」 農業水利施設が持つ多面的機能を十分に発揮させるため、地域が適切・有効に活用できるような非農家を含めた管理体制づくりを促進していく必要がある。



## ○農地・水保全管理支払交付金事業 14,946千円

多面的機能を有す農地・農業用施設などの資源の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみの共同活動への支援を行いました。

また、老朽化が進む農地周りの農業用施設の長寿命化を図る向上活動へ支援を行いました。

交付金(町負担分) 12,757千円  
推進事務 2,189千円

平成25年度

共同活動

協定地区数: 19地区

対象農用地面積: 田 40,265a 畑 10,705a

向上活動

協定地区数: 38地区

対象農用地面積: 田 75,558a 畑 11,244a



「成果」 事業実施組織が非農家を取り込み、地域ぐるみでの農業用施設の維持管理及び長寿命化に繋がる活動の支援を行った。

平成25年度には、2地区の新規地区の取組みを推進した。

地域による自主的な農業用施設の維持管理及び補修・改修が行われた。

「課題」 H26年度より多面的機能支払交付金へ制度移行することから、円滑な移行作業を行う必要がある。

また、高齢化に伴い集落の当該事業の取組みの継続が危惧される。

## ○農村振興再生可能エネルギー導入支援事業 14,094千円

土地改良施設に再生可能エネルギー発電装置を設置する等の農村地域の再生可能エネルギー活用を積極的に導入し、土地改良施設の維持管理費の削減を計る。

(1,028千円はH26年度へ繰越し)

「成果」 鳥取県が事業主体となり、船上山ダムの放水を利用して行う小水力発電施設について、工事の着手が行われた。

H26年度に事業完了し、発電開始を行う予定である。

「課題」 事業完了に向けて、引き続き関係機関と調整を要す。

農業者の負担軽減につながる売電収益の運用方法を関係機関と協議する必要がある。



## ○農業体質強化基盤整備促進事業 0千円

国の1号補正(2月)を受け、農業水利施設の用排水機能等の確保及び災害に強い農村づくりのため3月に補正による予算化を行った。

(18,620千円はH26年度へ繰越し)

「成果」 なし

「課題」 引き続きH26年度に事業実施し、用排水機能等の確保及び災害に強いまちづくりに寄与する。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	1 林業総務費	7,069千円	6,898千円
担当課決算額				7,069千円	6,898千円
<p>○人件費 6,531千円 一般職 1名</p> <p>○林業総務一般事務 367千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 22千円</li> <li>・各種負担金等 <ul style="list-style-type: none"> <li>国有林土地使用料 6千円</li> <li>県緑化推進委員会負担金 35千円</li> <li>全国森林環境・水源税創設促進連盟負担金 20千円</li> <li>治山林道協会負担金 29千円</li> <li>森林設計積算システム賃借料 255千円</li> </ul> </li> </ul> <p>「成果」 負担金や使用料を支払うことで団体の活動や継続使用について寄与した。 「課題」 なし</p>					
款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	2 林業振興費	101,110千円	19,259千円
担当課決算額				101,110千円	19,259千円
<p>○森林病虫害等防除事業 9,353千円</p> <p>松くい虫の被害から松林を守るための予防措置、駆除措置を実施しました。</p> <p>特別防除:6月に117ha×2回空中散布を実施。 8,208 千円</p> <p>伐倒駆除:被害木 36.4m<sup>3</sup>の伐倒、薬剤処理。 1,145 千円</p> <p>「成果」 松くい虫による被害を最小限にとどめることができた。また、伐倒により次年度の被害量を減らすよう努めた。</p> <p>「課題」 区域の見直しが必要。</p>					
					
<p>○林業振興対策事業 3,172千円</p> <p>適正な森林管理推進のため、担い手対策、間伐促進対策等を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業労働者福祉向上対策事業負担金 172 千円 (財)鳥取県林業担い手育成財団への負担金</li> <li>・緊急間伐実施事業費補助金 3,000 千円 県の間伐材搬出促進補助事業(3,500円/m<sup>3</sup>)に町が1,000円/m<sup>3</sup>のかさ上げ。</li> </ul> <p>「成果」 担い手の育成、間伐に係る搬出経費の支援をすることができた。 「課題」 事業の見直しが必要。</p>					

## ○森林整備促進事業 5,775千円

- ・森林整備担い手育成対策事業補助金 252 千円  
町内林業労働者の社会保障充実を図るため、社会保険等の一部を5年間助成。  
(県1/4、町1/4)
- ・竹林整備事業補助金 1,164 千円  
竹の抜き切り・皆伐等について補助を行いました。(県8.5/10補助)
- ・県緑の産業再生プロジェクト事業補助金 4,359 千円  
森林境界明確化について補助を行いました。(県10/10補助)

「成果」 森林整備や担い手の育成、放置竹林の整備に対し支援を行うことができた。

「課題」 なし



## ○ふれあい交流会館管理運営 915千円

赤碕ふれあい交流会館の管理運営経費。

「成果」 町有施設の管理を行い、町民に快適に利用してもらえる環境を保ちました。

「課題」 なし

## ○とっとり共生の森森林整備事業 44千円

(株)損害保険ジャパン、県、町で協定を締結し、船上山周辺の森林保全活動を実施。

「成果」 植栽を行い、企業の森林整備に対する関心を強めることができた。

「課題」 なし

款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	最終予算額	決算額
		目	1 水産業総務費	9,754千円	8,154千円
担当課決算額				9,754千円	8,154千円

## ○水産業振興対策事業 2,348千円

水産業の振興を図るため、県事業の負担金拠出、赤碕町漁業協同組合の運営事業の支援、同組合員の償還負担の軽減、共済掛金の負担軽減を支援しました。

- ・県水産業振興対策協議会負担金 45千円
- ・漁業近代化資金利子補給 3件分 利子補給1.0% 8千円
- ・漁村環境改善センター運営費補助金 80千円
- ・栽培漁業地域支援対策事業費補助金  
サザエ稚貝60千個 アワビ稚貝15千個 1,317千円
- ・漁獲共済掛金軽減事業補助金 21件分 漁家負担分の10% 169千円
- ・漁業振興対策補助金 原油高騰対策事業の漁協負担分の助成 224千円
- ・漁業緊急保証対策事業補助金 融資信用保証料の一部助成 72千円
- ・漁村センター維持管理費 433千円

「成果」 漁業者の経営安定に一定の効果が見られました。

「課題」 資源の枯渇に対して漁期の設定や育成技術の確立に努力が必要。

## ○漁業担い手育成研修事業 1,065千円

- ・漁業担い手育成研修事業費補助金 1,065千円

「成果」 新規青年就漁者の育成促進を図った。

「課題」 引き続き後継者対策に対する支援が必要。



## ○漁業の6次産業化を通じた水産物付加価値向上事業 4,741千円

- ・6次産業化総合支援事業補助金 4,741千円

「成果」 水産物の加工・販売の促進が図られました。

「課題」 引き続き、消費拡大につなげる支援が必要です。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	5 緊急雇用創出費	24,898千円	24,282千円
担当課決算額				7,753千円	7,697千円

## ○緊急雇用創出事業(農林水産課) 7,697千円

作業員を雇用することにより、雇用機会の創出を行うとともに、農道などの維持管理を実施しました。

- 作業員賃金(3名) 5,358千円
- 消耗品、燃料費 910千円
- 機械等借上料 1,381千円
- 原材料費 48千円

「成果」 雇用の機会を創出し、また、町内農業用施設のきめ細かな維持管理を実施しました。

「課題」 課題であった、作業の効率化については、H26年度よりワークセンターに作業員を集め対応する体制を作りました。

款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	1 現年発生農地災害復旧費	10千円	9千円
担当課決算額				10千円	9千円

○現年発生農地災害復旧事業 9千円

9千円

「成果」 H25年度については、農地災害の発生がなかった。

「課題」 引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図ると共に、発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要である。

款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	2 現年発生農業用施設災害復旧費	6,146千円	4,371千円
担当課決算額				6,146千円	4,371千円

○現年発生農業用施設災害復旧事業 1,518千円

33-201光好地区水路災害復旧工事 1,481千円

工事雑費等 37千円

(森藤地区水路災害にかかる1,393千円はH26年度へ繰越し)

「成果」 平成25年に発生した光好地区水路災害について、国の補助を受けて事業着手し、営農に支障を来さないよう事業完了することができた。

「課題」 平成26年度への繰越しを行った森藤地区水路災害については、引き続き営農に支障を来さないよう早期の工事完成を目指す。

(H26.5月に工事完了し、営農に支障を来すことがなかった。)

(着工前)



(完成)



○現年発生農業用施設小災害復旧事業 2,853千円

・琴浦町農業用水緊急確保支援補助金 2,853千円

平成25年7月、9月、10月豪雨により防火用水を兼ねる農業用水の河川取水口に土砂が堆積するなどにより取水が困難となったものに対し、用水確保作業を支援した。(申請件数:32件)



・現年発生農業用施設小災害復旧工事0千円

国庫補助の対象とならない小規模な災害について予算化し、降雪等の影響を受けない時期の施工とするため、H26年度へ繰越しを行い復旧を行う。

(380千円は、H26年度へ繰越し)

「成果」 農業用水の確保を支援し、災害に強いまちづくりに寄与した。

「課題」 平成23年に被災した加勢蛇川上流の山腹崩壊について、対策事業の早期完成を関係機関へ引き続き要望する必要がある。

【農林水産課】

款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	3 現年発生林道災害復旧費	20千円	7千円
担当課決算額				20千円	7千円
<p>○現年発生林道災害復旧事業 7千円 平成24年度において、林道については、災害が発生しなかった。 需用費(技術図書等) 7千円</p> <p>「成果」 H25年度については、林道災害の発生がなかった。 「課題」 引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図ると共に、発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要である。</p>					
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	3 農業振興費(繰越明許)	56,700千円	56,500千円
担当課決算額				56,700千円	56,500千円
<p>○農山漁村活性化プロジェクト支援事業 56,500千円 地域の活性化のために各種事業・補助を行った。 ミニトマト選果機の導入 1式 56,500千円</p> <p>「成果」 選果機を導入して、規模拡大するミニトマトの振興に寄与した。 「課題」 なし</p>					
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	5 農地費(繰越明許)	91,574千円	88,708千円
担当課決算額				91,574千円	88,708千円
<p>○県営畑地帯総合土地改良事業 13,000千円 国営事業と連携し、加勢蛇西地区の幹線水路・農道整備事業費の一部を負担しました。 (H24年度からの繰越分)</p> <p>○県営広域営農団地農道整備事業 14,394千円 中部地区の産業開発と振興のため広域農道の整備事業費の一部を負担しました。 (H24年度からの繰越分)</p> <p>○県営ほ場整備幹線道路等事業費及び利子補給事業債務負担事業 18,197千円 農業基盤整備の充実を図るため県営土地改良事業にかかる地元負担を軽減し、基盤整備の促進を図りました。 ・東伯地区畑地帯総合土地改良事業分 18,197千円 (H24年度からの繰越分)</p> <p>「成果」 受益者の負担軽減が図ることにより、農業基盤整備の充実に寄与した。 「課題」 低利率のものへの借換えなど、経費の節減に向けた検討が必要。</p>					

○農業体質強化基盤整備促進事業 43, 117千円

農業水利施設の用排水機能等の確保及び災害に強い農村づくりのため農業用水路の改修を行いました。

また、芝の連作障害により表土が不足する水田について、認定農業者を対象に客土を実施しました。

〈実施地区〉

逢東地区樋門。中津原地区取水施設

鋤地区水路、客土事業

「成果」 樋門の整備などを行い、用排水機能の確保及び災害に強い農村づくりに寄与した。

また、振興作物である芝を対象に客土を行い、生産基盤の確保を行い農業振興に寄与した。

「課題」 引き続き、町内の農業用排水路の改修を行い災害に強い農村づくりを進める必要であるが、受益者負担が生じるため事業化が難しい。

(着工前)



(完成)



款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決 算 額
		目	2 林業振興費(繰越明許)	22,560千円	6,806千円
担当課決算額				22,560千円	6,806千円

○県緑の産業再生プロジェクト事業補助金 6, 806千円

森林間伐への補助を行いました。(県10/10補助)

「成果」 森林の整備に対し支援を行うことができた。

「課題」 なし

款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決 算 額
		目	2 現年発生農業用施設災害復旧費(繰越明許)	1,274千円	1,210千円
担当課決算額				1,274千円	1,210千円

○現年発生農業用施設災害復旧事業 1, 210千円

工事請負費 1,187千円

工事雑費等 23千円

「成果」 平成24年8月豪雨災害により被災した野井倉地区の水路災害について復旧工事の着手を行い、繰越後、H25年度に事業完了した。

「課題」 農業基盤の改修等により安心して営農を継続することのできる災害に強い農村づくりを行って行く必要がある。

(着工前)



(完成)

